

▼ブリビアクト錠 [内]・▼静注 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 プリーバラセタム Brivaracetam (BRV) 【分類】 抗てんかん剤

【単位】 ▼25mg・▼50mg/錠, ▼25mg/V [2.5mL]

【常用量】

■経口

1回25mgを1日2回 [最大200mg/日]

■静注

経口剤と同用量に設定

先行的導入治療では、1回25mgを1日2回、2～15分で点滴 [最大200mg/日]

※投与中止時は漸減

【用法】 1日2回

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期CKD患者への投与方法】 腎機能による減量は不要 [代謝物CLは低下] (Sargentini-Maier ML, et al: J Clin Pharmacol 2012 PMID: 22235139)

PKは腎機能低下の影響を受けない (Qayyum A, et al: Sci Rep 2024 PMID: 38858493)

【特徴】 2ピロリドン誘導体で脳内のシナプス小胞蛋白質2A (SV2A) に選択的に結合して発作を抑制する。

【主な副作用・毒性】 攻撃性, 傾眠, 浮動性めまい, 易刺激性, 不安, 不眠症, うつ病, 疲労, 消化器症状など

【安全性に関する情報】 HD治療を要した横紋筋融解症の症例 (Alok K, et al: Cureus 2024 PMID: 38741805) 過量投与で浮動性めまい (1)

【F】 100% (1)

【tmax】 0.5hr (1)

【代謝】 主にアミダーゼにより加水分解されカルボン酸体へ代謝 (1) 二次経路はCYP2C19により水酸化 (1) カルボン酸体からの水酸化 (ヒドロキシ酸) はCYP2C9が関与 (1) いずれの代謝物も活性は認めない (1)

CYP2C19のPMでAUC 1.5倍 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率8.7%未満 [iv, 72hrまで] (1) 尿中回収率95%超で、カルボン酸体34%, ω -1水酸化体16%, ω -1ヒドロキシ酸体15%, 未変化体9%未満 (1)

【CL】 2.7L/hr [iv] (1) 腎CL=4.46 mL/min/1.73m², 全身CLの5～15% (1) CYP2C19のPMはEMの70%程度 (1)

【t1/2】 9hr (1)

【蛋白結合率】 17% (1)

【Vd】 0.56L/kg, 35L/body [iv] (1)

【MW】 212.29

【透析性】 資料なし (1) 透析されると思われる (5)

【O/W係数】 LogD=1.04 [pH7.4, 1-オクタノール/リン酸緩衝液]

【相互作用】 CYP2C19誘導剤による代謝促進 (1)

【主な臨床報告】

【更新日】 20240926

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。